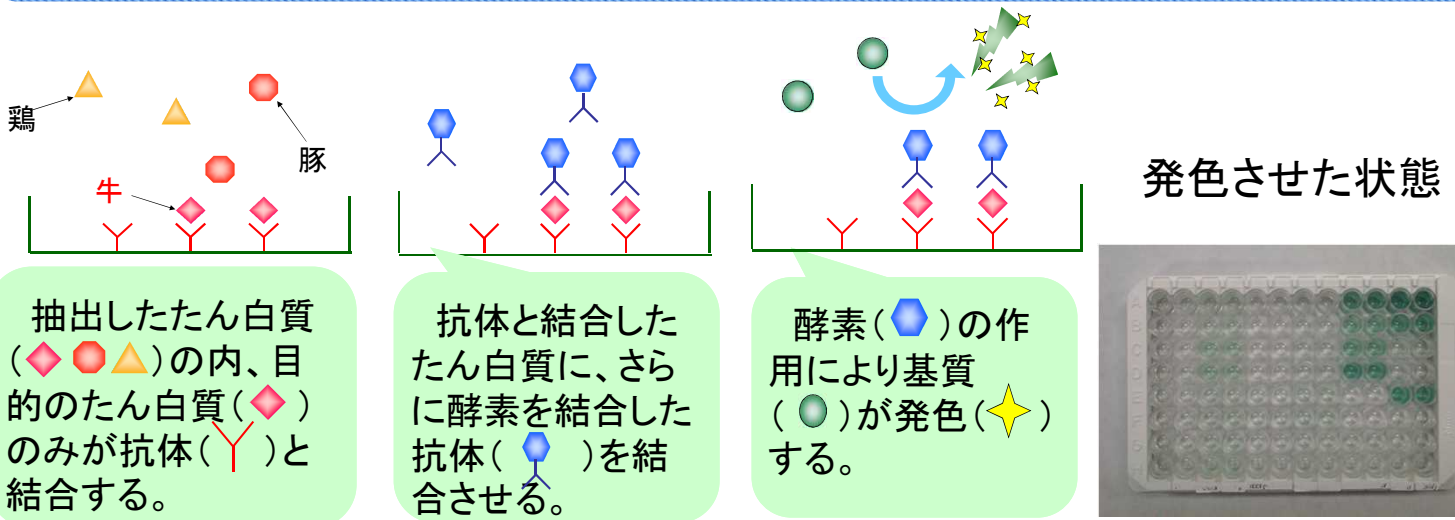


— ②エライザ法による動物由来たん白質の検出 —

抗原抗体反応を利用して、配合飼料に混入した牛由来たん白質などを検出します。

方法

飼料中の動物由来たん白質を抽出した後、酵素の作用により発色する試薬を加え、牛などのたん白質を検出します。



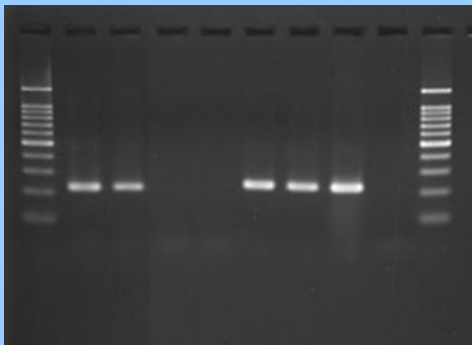
— ③DNA鑑定による動物由来物質の検出と動物種の識別 —

飼料中に微量混入した動物由来物質をより高感度に検出し、その動物種を識別するため、動物種特異的プライマーを設計し、遺伝子増幅法(PCR法)による動物由来DNAの検出法を開発し、実用化しています。

方法

飼料中のミトコンドリアDNAを抽出した後、特有の遺伝子の特異的に検出するプライマーを用いて、PCR法により、各種動物由来DNAを高感度に検出し、その動物種を識別します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



牛由来DNAの検出バンド写真

- 1,10 DNAのサイズマーカー
- 2,3,6,7 牛由来DNAを検出
- 4,5 牛由来DNAを不検出
- 8 陽性コントロール(牛DNA)
- 9 陰性コントロール

